

都市再生整備計画 事後評価方法書

南部地区

令和 7 年 4 月

大分県別府市

目 次

(1) 成果の評価	2
1) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況	2
2) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測	4
(2) 実施過程の評価	5
1) モニタリングの実施状況の確認	5
2) 官民連携による取組の実施状況の確認	5
3) 持続的なまちづくり体制の構築状況の確認	5
(3) 効果発現要因の整理	6
(4) 今後のまちづくり方策の作成	6
(5) 事後評価原案等の公表	6
(6) 評価委員会の審議	6
(7) その他の機会における有識者からの意見聴取の予定	6
(8) 事後評価に必要な経費に関わる予算措置の状況	6

(1) 成果の評価			
1) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況			
指標 1 :	地域交流センター利用者数		
A : 事前評価時の『従前値』の求め方			
①従前値の基準時点	地域交流センター利用者数の平成 29 年度の実績値 (平成 30 年 3 月 31 日時点)		
②実施主体	別府市 建設部 都市計画課		
③計測手法	地域交流センターの所管である子育て支援課に平成 29 年度 (平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月) の利用者数の問い合わせにより、9,313 人／年を『従前値』とした。		
B : 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方			
④計測時期	令和 7 年 4 月		
⑤実施主体	別府市 建設部 都市計画課		
⑥データの計測手法	地域交流センターの所管である子育て支援課に令和 5 年度 (令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月) の利用者数の問い合わせにより、利用者数を把握する。 参考値として、令和 6 年度 (令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月) の利用者数も把握する。		
⑦評価値の求め方	問い合わせにより把握した令和 5 年度の利用者数を『評価値』とする。		
⑧確定／見込みの別	●	確 定	
		見込み	
C : フォローアップ時の『確定値』の求め方			
⑨フォローアップの必要性		あ り	
	●	な し	
⑩計測時期	—		
⑪実施主体	—		
⑫計測手法	—		

指標 2 :		楠銀天街歩行者数	
A : 事前評価時の『従前値』の求め方			
①従前値の基準時点	調査時（平成 30 年 8 月 28 日（火））		
②実施主体	別府市 建設部 都市計画課		
③計測手法	南部地区都市再生整備計画の策定にあたり、楠銀天街で実施した歩行者交通量調査（平日 1 日、2 箇所、10 時～17 時の 7 時間）により、計測した歩行者数である 547 人／7h を『従前値』とした。		
B : 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方			
④計測時期	令和 7 年 8 月		
⑤実施主体	別府市 建設部 都市計画課		
⑥データの計測手法	楠銀天街で歩行者交通量調査（平日 1 日、2 箇所、10 時～17 時の 7 時間）を実施し、歩行者数を把握する。		
⑦評価値の求め方	歩行者交通量調査により、計測した歩行者数を『評価値』とする。		
⑧確定／見込みの別	●	確 定	
		見込み	
C : フォローアップ時の『確定値』の求め方			
⑨フォローアップの必要性		あ り	
	●	な し	
⑩計測時期	—		
⑪実施主体	—		
⑫計測手法	—		

(1) 成果の評価			
2) その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標) による効果発現の計測			
数値指標:	—		
記述理由	—		
A: 事前評価時の『従前値』の求め方			
①従前値の基準時点	—		
②実施主体	—		
③計測手法	—		
B: 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方			
④計測時期	—		
⑤実施主体	—		
⑥データの計測手法	—		
⑦評価値の求め方	—		
⑧確定／見込みの別	—	確 定	
	—	見込み	
C: フォローアップ時の『確定値』の求め方			
⑨フォローアップの必要性	—	あ り	
	—	な し	
⑩計測時期	—		
⑪実施主体	—		
⑫計測手法	—		

(2) 実施過程の評価	
1) モニタリングの実施状況の確認	
A : 都市再生整備計画への記載状況および実施状況	
	☐ ア 都市再生整備計画に実施することを記載した ☐ イ 都市再生整備計画に記載しなかった ☒ ウ 都市再生整備計画に記載はないが実施した
B : 実施事項 (※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)	
	事業の進捗状況を確認しながら、適宜計画の変更を実施した (計4回)。
C : 事後評価時の確認方法	
①時 期	令和7年4月
②確 認 先	別府市 建設部 都市計画課
③確認方法	各年度末の事業の進捗状況及び都市再生整備計画の変更内容を確認する。
2) 官民連携による取組の実施状況の確認	
A : 都市再生整備計画への記載状況および実施状況	
	☐ ア 都市再生整備計画に実施することを記載した ☒ イ 都市再生整備計画に記載しなかった ☐ ウ 都市再生整備計画に記載はないが実施した
B : 実施事項 (※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)	
	なし
C : 事後評価時の確認方法	
①対 象	—
②時 期	—
③確 認 先	—
④確認方法	—
3) 持続的なまちづくり体制の構築状況の確認	
A : 都市再生整備計画への記載状況および実施状況	
	☐ ア 都市再生整備計画に実施することを記載した ☐ イ 都市再生整備計画に記載しなかった ☒ ウ 都市再生整備計画に記載はないが実施した
B : 実施事項 (※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)	
	楠銀天街において新たな地元組織 (BEPPU 楠銀通り会) の発足
C : 事後評価時の確認方法	
①対 象	地元組織 (BEPPU 楠銀通り会) の設立経緯、活動について確認
②時 期	令和6年12月
③確 認 先	別府市 建設部 都市計画課
④確認方法	地元組織 (BEPPU 楠銀通り会) の設立経緯や活動記録より持続的なまちづくり体制の構築状況を確認する。

（３）効果発現要因の整理	
①時 期	令和 7 年 8 月
②実施主体	別府市 建設部 都市計画課
③検討体制	関係各課（産業政策課、自治連携課、子育て支援課、都市整備課）へ意見照会を行い、意見の集約を行う。

（４）今後のまちづくり方策の作成	
①時 期	令和 7 年 9 月
②実施主体	別府市 建設部 都市計画課
③検討体制	関係各課（産業政策課、自治連携課、子育て支援課、都市整備課）へ意見照会を行い、意見の集約を行う。

（５）事後評価原案等の公表		
	原案の公表	評価結果(最終)の公表
①時 期	令和 7 年 9 月下旬	令和 7 年 10 月下旬
②実施主体	別府市 建設部 都市計画課	別府市 建設部 都市計画課
③公表方法	都市計画課窓口での閲覧及びホームページに掲載して公表する（2 週間）。	都市計画課窓口での閲覧及びホームページに掲載して公表する（無期限）。

（６）評価委員会の審議	
①時 期	令和 7 年 8 月、令和 7 年 10 月（計 2 回）
②実施主体	別府市建設部都市計画課
③設置・運用方法	学識経験者及び市内各団体の有識者を中心とした評価委員会を設置し、要綱を制定して運用する。

（７）その他の機会における有識者からの意見聴取の予定	
①聴取方法	予定なし。

※（３）～（６）の検討以外に市町村で任意に有識者から意見聴取を予定する場合に記入

（８）事後評価に必要な経費に関わる予算措置の状況	
①予算措置の状況	ア ☐ 費用は発生しない イ ☒ 費用は発生するが、予算措置を講じている ウ ☐ 費用は発生するが、予算措置は講じていない エ ☐ その他（ ）

都道府県名	大分県
市町村名	別府市
地区名	南部地区
計画期間	平成 30 年度～令和 6 年度
作成者	部署 建設部都市計画課
	役職 主査
	氏名 河井 希
連絡先	T E L 0977-21-1471
	F A X 0977-22-9478
	E-mail cip-co@city.beppu.lg.jp